

# SDGs の視点で世界や日本の諸問題について考える ～時間・空間認識を育てる探求的な学習の展開～

実施校：鳥取大学附属中学校 教諭名：中村 仁

<b>対象</b>	第2学年	<b>単元名</b>	SDGs の視点で世界や日本の諸問題について考える
<b>科目</b>	社会科	<b>目標</b>	
<b>時間</b>	9時間	<b>【単元を貫く目標】</b>	地球市民として世界や日本の諸問題に関心を持ち、SDGs の視点で課題 解決に向けて主体的に考える。
<b>参考資料</b>	アイデアブック 環境省(2019) プラス チックススマートとは 等		

## 期待できる学習効果

- ・その1 世界の現状や地域の現状を知り、地球規模で物事を見て、自分にできることは何か考えて行動できる。(Think Globally, Act Locallyの精神)
- ・その2 親子で環境問題について学習する機会を設けることで、家庭でできるSDGsの取り組みついて関心が高くなる。

## 授業内容

改訂学習指導要領の前文に「持続可能な社会の創り手となることが求められる」と明示された。また、2016年12月の中央教育審議会答申に指導内容の示し方の改善として、時間、空間、相互関係などの視点に着目して考察・構想していくといった社会的な見方・考え方の必要性が述べられた。そこで、SDGs の視点を取り入れた学習内容の展開と、時間・空間認識を育てる探求的な学習の展開を意識した、主体的・対話的で深い学びのある授業をつくることにした。

### 【研究の方法】

①「Think Globally, Act Locally」の考え方をもとに、SDGs の 17 の目標を意識した、主体的に課題を解決しようとする態度の育成を図るために、一単元を丸ごとこと SDGs の視点を取り入れた授業の構成を考えた。

②中央教育審議会答申に、指導内容の示し方の改善として、時間、空間、相互関係などの視点に着目して考察・構想していく必要性が述べられた。そこで、社会的な見方・考え方を働かせた例として提示された考察・構想をもとに、授業を組み立てることにした。

### 【協力団体とコラボした授業づくり】

①一般社団法人 Think the Earth が主催している SDGs for School の協力をいただき、『未来を変える目標 SDGs アイデアブック』を 40冊提供していただいた。この単元ではアイデアブックを毎時間生徒に配布して、「今日の学習はSDGs の 17 のどのゴールに関係していたのだろうか」と問い、それぞれの目標に対するさまざまな取り組みを紹介した。

②鳥取砂丘ビジターセンターの協力をいただき、平成 31 年 3 月 25 日～4 月 21 日に開催された「山陰海岸海ごみを知ろう ～山陰海岸にはどんなものが流れ着くのかな～」で使用されたパネルを借りて本時に使用した。

③学習のまとめとして、落語家による「海の温暖化とマイクロプラスチックごみ問題」の出前授業を開催した。これは、日本財団が推進する「海と日本プロジェクト」の取り組みとして、日本の伝統芸能である落語を通じて海洋問題について考える「海の親子寄席プロジェクト」を活用したものである。本学年の保護者と生徒がともに環境問題について学ぶ機会をつくり、SDGs の取り組みについて関心を高める機会と考えた。

# SDGs の視点で世界や日本の諸問題について考える ～時間・空間認識を育てる探求的な学習の展開～

実施校：鳥取大学附属中学校 教諭名：中村 仁

## 授業の様子



写真1 「SDGsの視点でマイクロプラスチック問題を考える」授業風景




写真2 「SDGsの視点でマイクロプラスチック問題を考える」授業風景

## 子どもたちの反応・感想

ヒトが原因で起こったことは、全て人に返ってくる。  
それは、良いことも悪いとも言える。ゴミを捨てれば、暑くなり、魚も食べられなくなるが、対策をすれば、少しだけでも良くなり、おいしい魚がいつまでも食べられる。  
国や、組織を動かすためには、1人1人が意識を高めていかないと、いけないと思った。

今のままの生活をしていけば、住むことができなくなってしまう。僕達一人一人がどのような行動をとるかによって決まってくる。プラスチックの使用量を減らしたり、マイバッグをしないなど身近なことから今の生活を維持できるように努力したいと思いました。

エコバッグとかストローとかはもう  
今日からでもできるの？ やってみます。



2050年の海、温暖化事情がほんとに酷くなるかもしれないと、思っているので、何か協力できることを自分ができることをしたい。2050年の地球を助けるための行動がしたいです。これから地球の温暖化のニュースや事情に目を向けていきたいと思います。

自分か思っていたより、地球の変化が進んでいてびっくりしました。講師の方で使っていたように衣服の素材をオーガニックにしたり、マイバッグの使用をして自分なりに行動したいです。

今のままの生活をしていけば、住むことができなくなってしまう。僕達一人一人がどのような行動をとるかによって決まってくる。プラスチックの使用量を減らしたり、マイバッグをしないなど身近なことから今の生活を維持できるように努力したいと思った。

SDGsのことや、マイクロプラスチックなどの海洋問題について分かってはいたけれど、あまり自分事としてとらえていなかったり、実際に起こることやおもい実感がないのが、今回の知れたよかったです。

宿題では、楽しく落語のことに、ついて、知れて楽しかったし、スライドを使った話は、参加型で、とても良かった。  
自分が思っていたより地球が深刻な状況であることに、驚いた。地球温暖化の進行を色々と示すスライドを見て、今の状況も、大変なことに、なっているけど、遅くはない未来、このままの生活を続けていたら、地球温暖化が、こんなに進むのかと、怖くなった。他にも、具体的な統計の数字が、たくさん出てきて、身をもって、何かの対策を、していかないと、いけない。自分も、思っていたよりは、リサイクル、くらの、対策が、できないけれど、少しでも、地球を、良くしていきたいと思ってる。